



沼高トピックス かるた大会編

第212号 令和8年 1月23日（金）発行



1月15日(木)7限目に、1年生全員が参加して百人一首かるた大会が行われました。

1年生は2学期末考査以降に国語の授業で数回ほどかるた取りの練習を行い、冬休みの課題として百人一首の暗記をして、この大会に臨みました。

試合は5対5の団体戦で、1チームの10人が前半と後半に分かれて試合を行いました。



読み手は国語科の教員が中心となって行いましたが、1学年の担任団も加わり、先生も生徒も一緒に楽しみました。生徒にとって身近な先生が和歌を詠みあげると、対戦場所のあちこちで歓声が聞こえ、大会はよりいっそう盛り上がりました。

試合は後半になるとさらに白熱し、札を取った時の歓声も一段と大きくなりました。

順位は、まず試合に勝利した数が多いクラスから上位が決まります。勝利数が同じ場合は、場に残った札が少ない方が上になります。気になる順位は…



1位 1組(4戦 3勝)

2位 5組(4戦 3勝)

3位 2組(4戦 2勝)

1組と5組は勝利数で並びましたが、残った札が少なかった1組が優勝となりました。

勝ち負けはありましたが、どのチームも集中して取り組み、寒さも忘れるほど奮闘しました。クラスの仲間で協力して最後まで熱い戦いが繰り広げられました。